

## 平成16年度 東海・北陸地区国立学校等技術専門職員研修 情報処理コースに参加して

情報システムグループ 新美 治利 中村 勝

－ 第2日目 －

平成16年度東海・北陸地区国立学校等技術専門職員研修情報処理コースが、平成16年11月24日～26日、3日間の日程で北陸先端科学技術大学院大学で開催され、東海・北陸地区の技術職員15名、うち、工学部から中村勝、新美治利の2名が参加、受講した。その目的は職務遂行に必要な基本的、一般的知識および新たな専門知識、技術等を習得し、職員としての資質の向上を図るとともに職員相互の交流に寄与することにある。受講者2名は、4月より技術部共通業務として、情報システムグループの業務あたっている。今回、参加する機会を得たので研修の概要を報告する。

－ 第1日目 －

講義「技術職員に期待すること -国立大学法人化を踏まえて-

独立法人化で、意志決定、競争原理、外部資金など、大学運営は大きく変化したが、一般職員の意識改革はこれからである。また、北陸先端科学技術大学院大学の概要についての講義がなされた。

講義「北陸先端大の最先端情報環境」

北陸先端科学技術大学院大学内のネットワーク環境は、ネットワーク、サーバに至るまで二重化が行われ、障害が発生しても利用者には気づかれることなく復旧が行えるシステムについての講義がなされた。

講義「インターネットはどこへ行くのか」

近年、インターネットの利用者は急増し、ネットワーク通信速度は高速化し大容量の情報がやりとりが行われているが、現在の通信技術では限界に近く、新たな技術開発が急務であることについての講義がなされた。

講義「知識創造法概論」

川喜多次郎氏によって考案された有名な発想法（KJ法）を用いた発想支援システムについての講義がなされた。

実習

実習1「Webサイト解体新書」と実習2「知識創造法実習」と分かれて実習を行った。

実習1「Webサイト解体新書」は、講義の最初に、WWWの概説、実習はEtherealを用いてパケット状態を見る。Webサーバ構築を行い、インストール、各種設定など行った。

実習2「知識創造法実習」は、第1日目の講義「知識創造法概論」の講義で、取り上げられた「KJ法」をつかって、情報の整理、管理を行った。

－ 第3日目 －

講義「RFID（無線タグ）の動向と課題」

RFID（無線タグ）についての実用化された事例と利用の可能性と、コストや電波の周波数等の問題点について、講義がなされた。

講義「家庭におけるユビキタス・コンピューティング」

日常、生活に使う日用品や家電品にコンピュータを組み込みとネットワークに接続することによって、生活が便利になることについての講義がなされた。

施設見学 北陸先端科学技術大学院大学学内  
第1日目の講義で説明がなされたネットワークシステム、図書館等の見学が行われました。

施設見学 株式会社ナナオ

松任市にある株式会社ナナオの工場見学で液晶モニターの製造工程など見学が行われました。